

2025年7月1日（火）  
Vonage Japan 合同会社

## コムデザイン、Vonage との技術連携により コンタクトセンターのデジタルトランスフォーメーションを推進

2025年7月1日（火） - クラウドコミュニケーションのグローバルリーダーである Vonage Japan 合同会社（本社：東京都中央区、セールスディレクター：松富貴子、以下「Vonage」）は、同社の SIP Trunking ソリューションが、株式会社コムデザイン（本社：東京都千代田区平河町、代表取締役社長：寺尾憲二）のクラウド型 CTI（Computer Telephony Integration）ソリューション「CT-e1/SaaS」と連携したことを発表しました。

この連携により、コンタクトセンターは世界 65 カ国以上の電話番号へ簡易にアクセスできるようになり、グローバル展開の加速が可能となります。

株式会社コムデザイン 代表取締役社長 寺尾憲二氏は、次のように述べています。「コムデザインは、日本企業に対して、よりスマートで俊敏なコミュニケーションツールの提供に取り組んでいます。今回の Vonage SIP Trunking との連携は、コンタクトセンターが従来の障壁を乗り越え、規制に縛られないインフラでグローバルな成長を実現できる、大きな一歩となります。」

近年、国境を越えた一貫性のある通信インフラへの需要は高まっており、多くの企業がグローバル展開を推進する中で、物理的かつ拠点依存型の従来インフラは統合の大きな障壁となってきました。今回の連携により、Vonage の SIP トランキングと CT-e1/SaaS の統合を通じて、企業はクラウドベースの柔軟な電話番号取得が可能になり、世界中で簡易にコンタクトセンターを運営できる体制を構築できます。

Vonage API 事業部門プレジデント、クリストフ・ヴァン・デ・ウェイヤー氏は、次のように述べています。「このソリューションは、国際的な電話番号の調達を簡素化するだけでなく、日本国内で進むデジタルトランスフォーメーションの動きとも強く連携しています。クラウドネイティブなアプローチを取ることで、グローバル顧客への対応がスムーズになり、顧客満足度の向上にもつながります。今回の連携により、コムデザインは日本市場における先進的な存在としての地位をさらに強化しています。」

コムデザインと Vonage は、本連携ソリューションを、2025年7月9日に開催予定のコムデザ

イン主催イベント「ContactCenter MashUp BOX 2025」 (<https://cmb.comdesign.co.jp/>) にて披露いたします。本イベントでは、日本のコンタクトセンターがクラウドコミュニケーションをいかに活用し、グローバル展開をリードしていけるかについて、より詳しいインサイトを提供する予定です。

#### 【株式会社コムデザインについて】

コムデザインは、2000年に創業。2008年からクラウド型CTIサービス「CT-e1/SaaS」の提供を開始。高い拡張性を持つ自社開発のアーキテクチャと利用者のニーズにきめ細かく対応可能なサービスモデル「CXaaS」により、小規模から大規模まで業種を問わずコールセンターに支持されています。※CXaaS(Customer Experience as a Service)とは「CXaaS」とはコールセンターに求められるクラウドCTI機能の提供および開発だけでなく、利用までに必要な専門エンジニアによる伴走体制もふくめて定額費用で提供するサービスモデルです。

関連書籍：「CXaaS「攻めのIT活用」を実現する新しいクラウドサービスモデル」(翔泳社)

#### 【イベント開催概要】

名称：ContactCenter MashUp BOX (CMB2025)

日時：2025/7/9(水) 11:00～16:30

会場：砂防会館別館 1F、3F 会議室

お申込み：<https://e-ve.event-form.jp/event/102024/cmb2025>

主催：株式会社コムデザイン

#### 【Vonage について】

Vonage は、クラウドコミュニケーション分野のグローバルリーダーとして、企業のデジタルトランスフォーメーションを加速させるエンゲージメントソリューションを提供しています。顧客および従業員の体験全体にわたり、よりパーソナルで意義のあるコミュニケーションの実現を支援します。Vonage は、UCaaS (Unified Communications as a Service) および CCaaS (Contact Center as a Service) を通じて、企業がオフィスやリモート環境を問わず、より柔軟かつ効率的にコミュニケーションと業務を行えるよう支援します。また、Vonage の CPaaS (Communications Platform as a Service) は完全にプログラム可能で、開発者はビデオ・音声・チャット・メッセージング・AI・認証などの機能を、API を通じて既存の製品やシステムに統合することができます。さらに Vonage は、通信ネットワークの力を活用しながら、グローバルな開発者コミュニティに向けて先進的なアプリケーションを創出する新たな API 機能を継続的に提供し、企業の業務改革や顧客体験の向上を支援しています。Vonage は、エリクソン (NASDAQ: ERIC) の完全子会社であり、同社のグローバル通信プラットフォーム事業の中核を担っています。

Vonage 公式リンク：

- LinkedIn: <https://www.linkedin.com/company/vonage/>
- Facebook: <https://www.facebook.com/vonage>
- YouTube: <https://www.youtube.com/vonage>

#### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

Vonage Japan 合同会社

〒104-0031

東京都中央区京橋 3-1-1 東京スクエアガーデン 14F

担当：グリーン 智美

Tel：03-6670-6930

Email : [jp.marketing@vonage.com](mailto:jp.marketing@vonage.com)

Web : <https://www.vonagebusiness.jp/>